

2018年6月25日(月)

英会話道場イングリッシュヒルズ
文書教材

重要教材「レッスン日記」の勉強が、 「国際的教養の根幹」を樹立する

生井利幸

第一部

言うまでもなく、当・英会話道場イングリッシュヒルズ・ウェブサイトに掲載されている「レッスン日記」は、教室の重要根幹教材の一部です。

「レッスン日記」は、2008年3月23日(日)から執筆・編集・掲載を開始し、2018年6月25日(月)現在、既に、掲載開始から11年目を迎えています。

英会話道場イングリッシュヒルズでは、すべての受講生が、教室の重要根幹教材の一つである「レッスン日記」について、2008年3月23日(日)掲載の記述から、日付の順番にしたがって、日付の順番ごとに3つずつ、たっぷりと時間をかけて丁寧に勉強しています。

受講スタート1年目の新受講生から、既に相当年数にわたって勉強している受講生においても、この勉強は、実に「根幹の根幹となる、極めて重要な勉強」として捉えてください。

また、すべての受講生において、上記の勉強と同時進行で、毎日、「最新のレッスン日記」を精読する習慣を構築することも極めて重要です。

以下、具体的に整理して、すべての受講生に該当する「より良い勉強方法」について説明します。すべての受講生は、以下の2つを同時進行で行ってください。

< 1 > 2008年3月23日（日）からのレッスン日記の勉強

まず第一に、実際の紙にプリントアウトして、紙上で「線を引く・メモを取る」等しながら精読してください。精読後は、たっぷりと時間をかけてノートにまとめてください。

この勉強を「実のある学習経験」(fruitful learning experience)にする秘訣は、レッスン日記の記述内容について、それを他人事として捉えるのではなく、「自分の事」(your own business)として捉え、一事が万事において、楽しみながら精読し、ノート作りを行うということです。

レッスン日記では、「熱情を持って、真面目にコツコツと勉強している受講生のみ」を紹介しています。ですから、受講生は、レッスン日記の勉強を通して、他の受講生の学習状況について知るだけでなく、自分自身もさらに勉強し、レッスン日記で「自分の勉強の状況・成果」が紹介されるよう、一生懸命に勉強してください。

レッスン日記は、わたくし生井利幸が、「相当なる時間」を捻出して作成している重要教材です。したがって、受講生においては、「生井利幸が、レッスン日記で、時間をかけて丁寧に自分を紹介してくれる」という事実について、「極めて光栄、且つ、名誉なプレゼント」として捉えてください。受講生自身、レッスン日記について、これをどのように捉えるかで、「ご本人における勉強の質・行く末」が大きく変わっていきます。

< 2 > 最新の日付のレッスン日記の勉強

最新のレッスン日記の記述については、その都度、プリントアウトしなくても結構ですが、スクリーン上で、たっぷりと時間をかけて丁寧に精読してください。その際、スマートフォンではなく、デスクトップPC、あるいは、ラップトップPC等の大きなスクリーンで精読してください。

スマートホンの小さなスクリーンで記述内容を読むと、感覚が麻痺し、普段読んでいる他の情報についての文章との差別化ができなくなり、せつかく「レッスン日記」を読んでも、何も感じなくなってしまう。

移動の際、電車等の中で確認するためにレッスン日記を読むのは結構ですが、その後、必ず、自宅にて、大きなスクリーンで、たっぷりと時間をかけて丁寧に精読してください。

受講生は、移動中にスマートホンでレッスン日記を読むことは、「記述内容の確認」のためと捉えてください。わたくしが述べる「精読」とは、「実際に、デスクトップ PC、または、ラップトップ PC 上で、大きなスクリーンで、たっぷりと時間をかけて繊細・詳細に読み込む」という行為を指します。

再度述べますが、雑音・騒音の中で、ほんの 1 分程度で、携帯用の小さなスクリーンでわたくしが書いた文章を読んでも、何らの本質をも捉えることはできません。このような行為は、精読ではなく、「単に、文字を見た」という、“上辺だけの中身のない行為”に過ぎません。このことは、長年、大学・研究機関等で学問研究に携わり、相当数の単行本を出版してきたわたくし生井利幸が明確に述べるわけですから、将来、理性的存在者になることを目指す受講生は、これを「正真正銘の真実」として“理性的に”捉えてください。

第二部

当教室の受講生は、わたくし生井利幸の指導の下、同時進行で、上記の< 1 >と< 2 >をしっかりと実行していくことで、少しずつ、「エレガント英語」の学習・習得に加え、「国際的教養」を養うための道のりを歩むことができます。

わたくし自身、「もともとない時間」（受講生の皆さんが想像する以上に、わたくしには、余分な時間はありません）から「更なる時間」を捻出し、できる限り、新しいレッスン日記の記述を執筆・編集・掲載するべく、自分を律して毎日を過ごしています。

言うまでもなく、この作業は、

『教室の学習者における、「より質の高い勉強』』

を実現する目的だけのために行っていきます。

しかし、一方、わたくしが、「相当なる時間」を捻出して新しい記述を掲載しても、肝心の受講生が毎日レッスン日記を確認し、精読しない限り、頻繁に掲載している意味がなくなります。

受講生の皆さん、「今、少しだけでもいいですから」、頭の中で想像してください。わたくし自身、平日はもちろん、週末も、皆さんが、家族や友人とゆっくりと休憩しているときも、受講生の皆さんの「真の幸福」「真の教養の樹立」を実現するべく、このレッスン日記を執筆したり、新しい教材を作り続けています。

わたくし自身、受講生の皆さんのために使っているこの時間を、本来の仕事（新作の単行本の執筆）のために使えば、さらに、「作家としての自分の仕事を進行させるための時間」が増えます。しかし、わたくしは、「受講生の皆さんのための時間」を優先させ、「新作の単行本の執筆のための時間」を後回しにしています。

受講生の皆さん、是非、わたくしの指導通り、学習を進めてください。年月が過ぎ去り、さらに勉強が進んでいくと、わたくしの教授法の下で勉強すると、「世界に通用する、総合的な教養が養える」という真実について、さらに、明確に認識・理解できるようになります。

わたくし自身、日本国内はもとより、世界中のどんな教育機関でどのような教育がなされているか、“具体的に”、しっかりと把握しています。

実際問題として、教える側から述べるならば、「普通の教え方」「一般的な教え方」で教える方法が、“一番手間暇のかからない教え方”です。しかし、「普通の教え方」の下で学ぶ学習者においては、学習者自身、学んでいることが、「本当の意味での知識・教養」としてしっかりと身に付くことはありません。

受講生の皆さん、今、自分の友人も含め、自分の周囲の人々を見てください（思い出してください）。

日本人の人で、

「普通の勉強方法で、日本語のように、英語が喋れるようになった人はいますか」

「普通の勉強方法で、誰もが認める『国際的教養』を養った人はいますか」

皆さんがウェブサイトアクセスしたとき、レッスン日記において新しい掲載がないときは、「特に新しい更新はないから、サイトの閲覧はこれで終わり」と考えることは、些か早計です（「早計」とは、十分に思索しないまま、浅はかな考えの下で判断する様相を指します）。

ウェブサイトアクセスしたとき、レッスン日記において新しい掲載がないときは、自分なりの方法で「最近のレッスン日記」を丁寧に精読・再精読すると、重要事項を漏らすことなく、「現在の教室の空気感」を掴むことができます。

例えば、最近の1ヶ月における記述内容の精読・再精読をすると、直近の1ヶ月における講師の指導内容について、詳細に把握することができます。受講生は、このように、詳細にレッスン日記の精読を続けていくことで、

「他の受講生は皆、知っていることなのに、自分だけが知らなかった！」

というような、まさに、“裸の王様（女王様）状態”になることを回避することができます。

また、一度、精読した記述であっても、後に、何度も再精読を重ねていくと、「記述内容について既に理解している」と思っていたことが、実は、自分の「思い違い」「勘違い」「誤解」「曲解」であったことに気づきます。

記述についてしっかりと理解するためには、何度も何度も、再精読することが必要となります。再度述べますが、レッスン日記の記述は、これまで数々の著作物を発表してきたわたくし生井利幸が、「相当なる時間・エネルギー」を投入してつくってきた「重要根幹教材」です。

外部者においては、深い思索を試みず、レッスン日記について、ウェブサイトに掲載しているという“表面的（外面的）様相”だけを捉え、(1)「レッスン日記」と(2)「素人が趣味で書いているブログ」との識別ができない人も存在するかもしれません。

しかし、レッスン日記は、「文章の素人が、暇な時間を使って、個人的な趣味で書いているブログ」とは、その記述内容も掲載目的もまったく異なるものです。

レッスン日記には、既に、実に膨大な量の記述・情報が掲載されています。更新があってもなくても、高い心のステージで、「毎日、楽しみながら精読していく」という習慣を確立すると、しっかりと「教養の根幹の根幹」を樹立することができます。

実際、毎日精読しても、既に、読み切れないほどの膨大な量の記述・情報が掲載済みです。だからこそ、毎日、精読し続けることが極めて重要です。レッスン日記を精読する毎日が続けていくと、必ず、自分を変えることができます。

レッスン日記をしっかりと勉強すると、「人間の知性のダイナミズム」を体験具現することができます。

単なる英語の勉強にとどまるのではなく、たっぷり時間をかけて、自分自身の知性を磨き抜きたいと切望する受講生にとって、レッスン日記は、「人間の知性の究極」(the ultimate in human intellectuality)に到達するための、“最も妥当な指南書”としての役割を演じてくれます。